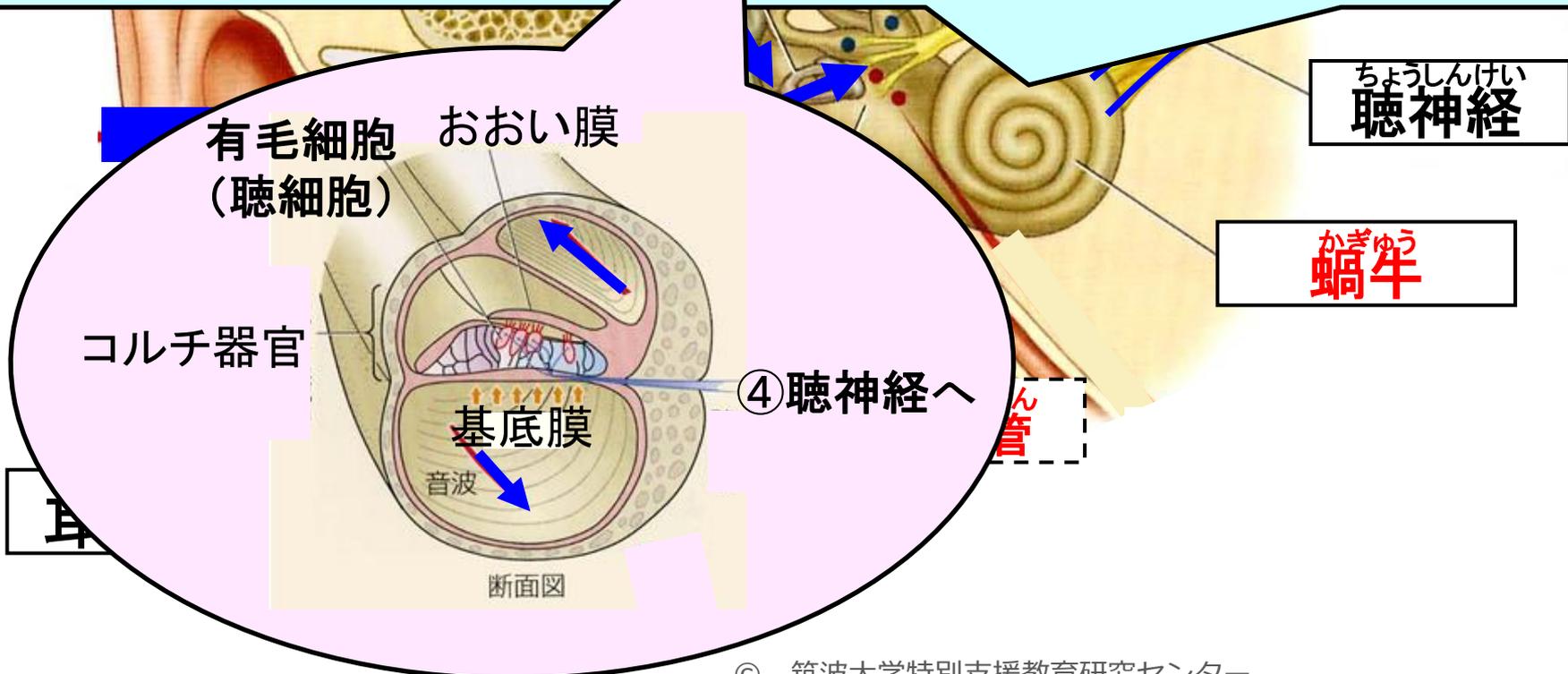
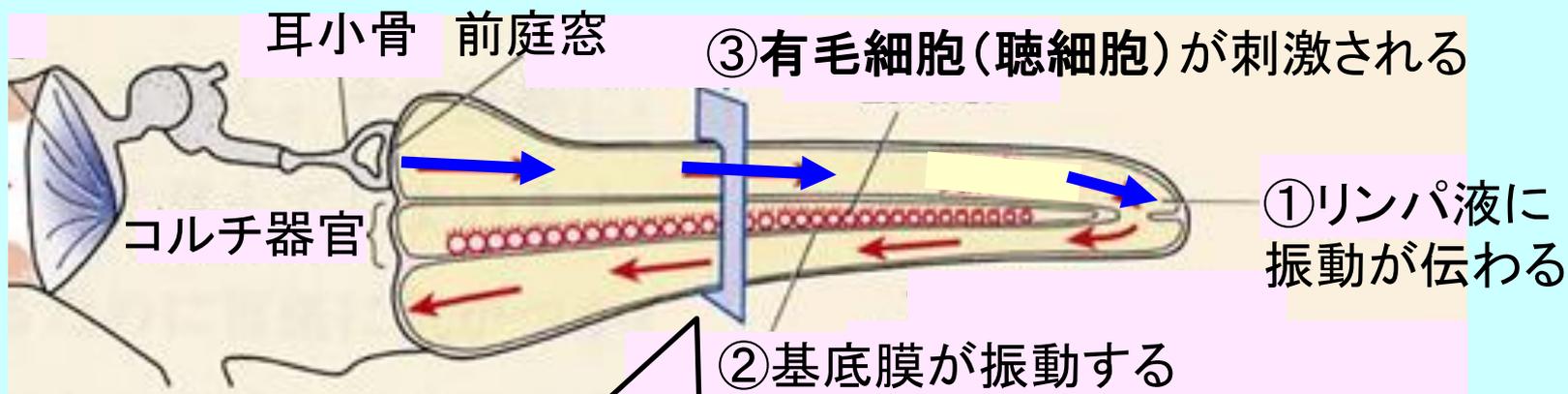
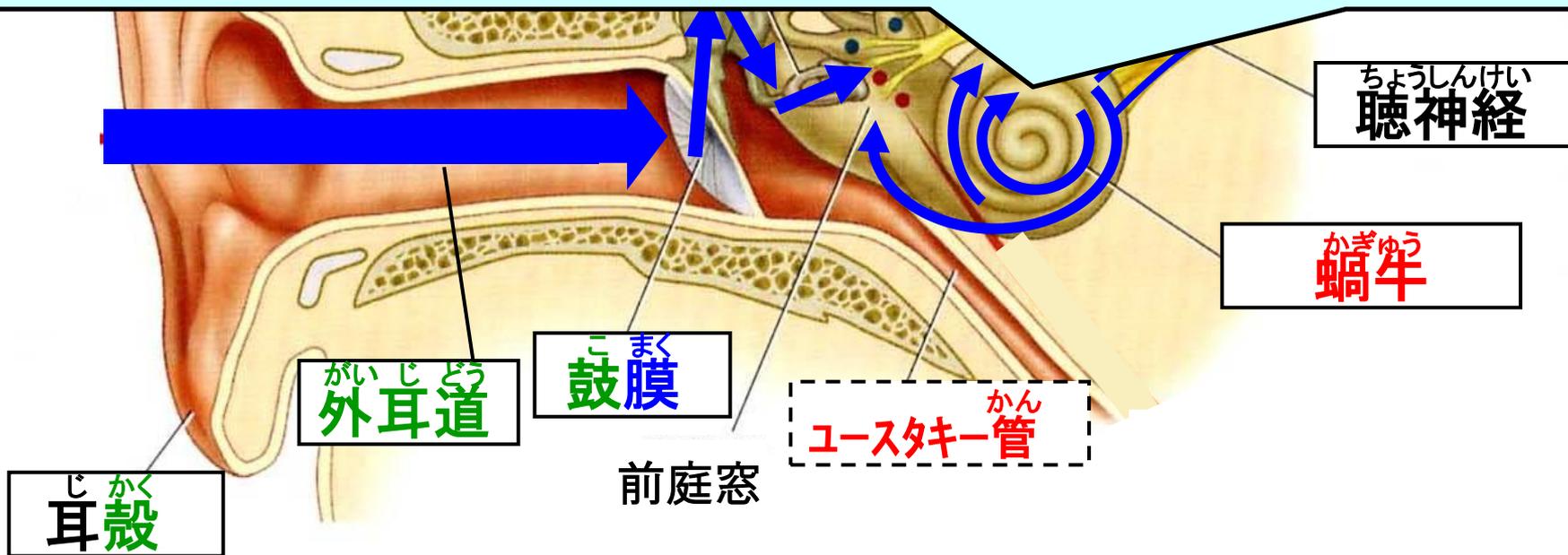
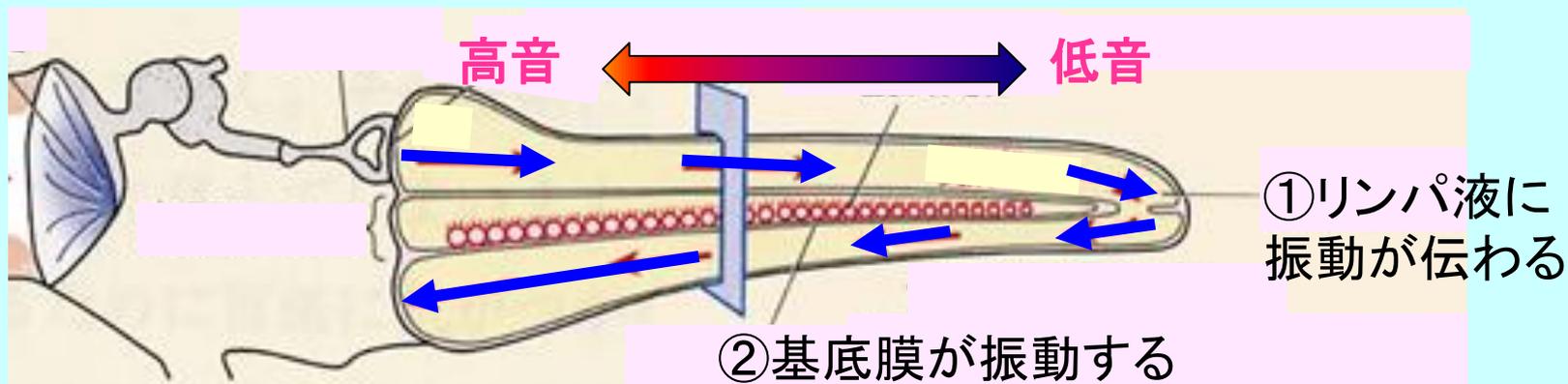


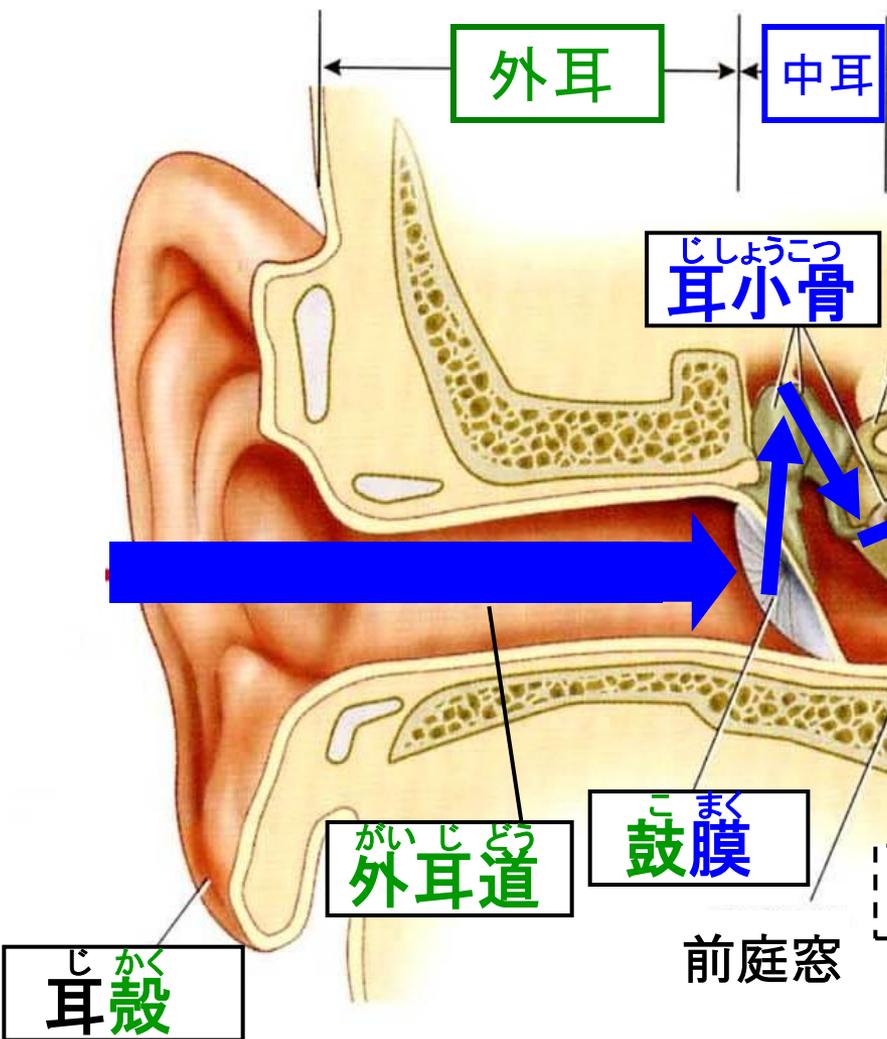
蝸牛を伸ばすと・・・



蝸牛を伸ばすと・・・



伝音系



伝音性難聴とは

音を伝える・増幅する部分の障害。

- ・ 外耳道の閉鎖
- ・ 鼓膜の疾患
- ・ 耳小骨の奇形 など

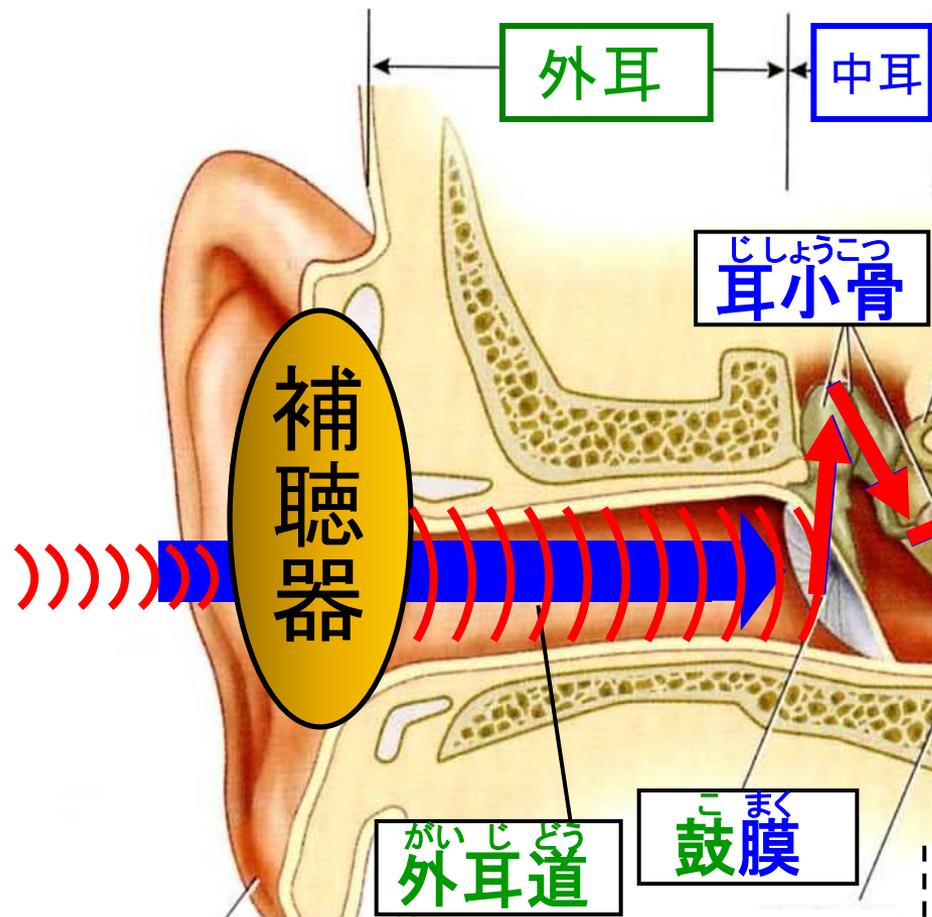
主な原因

- ・ 補聴器などで音を増幅させれば明瞭に聴こえる
- ・ 手術などで聴力が回復できる場合が多い

- ・ 骨導聴力は正常
- ・ 高音、低音による違いがあまりない

主な特徴

伝音系



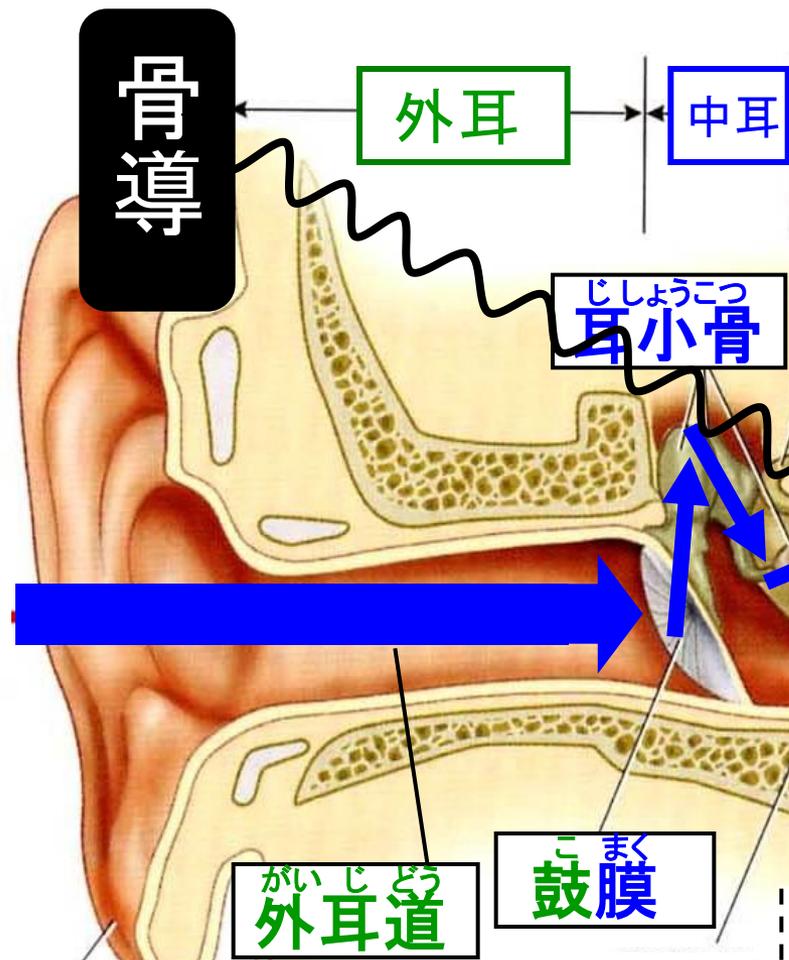
- ・ 補聴器などで音を増幅させれば明瞭に聴こえる
- ・ 手術などで聴力が回復できる場合が多い
- ・ 骨導聴力は正常
- ・ 高音、低音による違いがあまりない

主な特徴

正常

つまり、「音を感じる部分」の機能が正常であれば、そこに振動を伝えることによって聴こえる。

伝音系



- ・ 補聴器などで音を増幅させれば明瞭に聴こえる
- ・ 手術などで聴力が回復できる場合が多い
- ・ 骨導聴力は正常
- ・ 高音、低音による違いがあまりない

主な特徴

正常

聴神経

蝸牛

つまり、「音を感じる部分」の機能が正常であれば、そこに振動を伝えることによって聴こえる。

感音性難聴とは

蝸牛内の有毛細胞の障害がほとんど
(聴細胞)

いろいろあるが、大半は

不明。

(先天性の場合)

主な原因

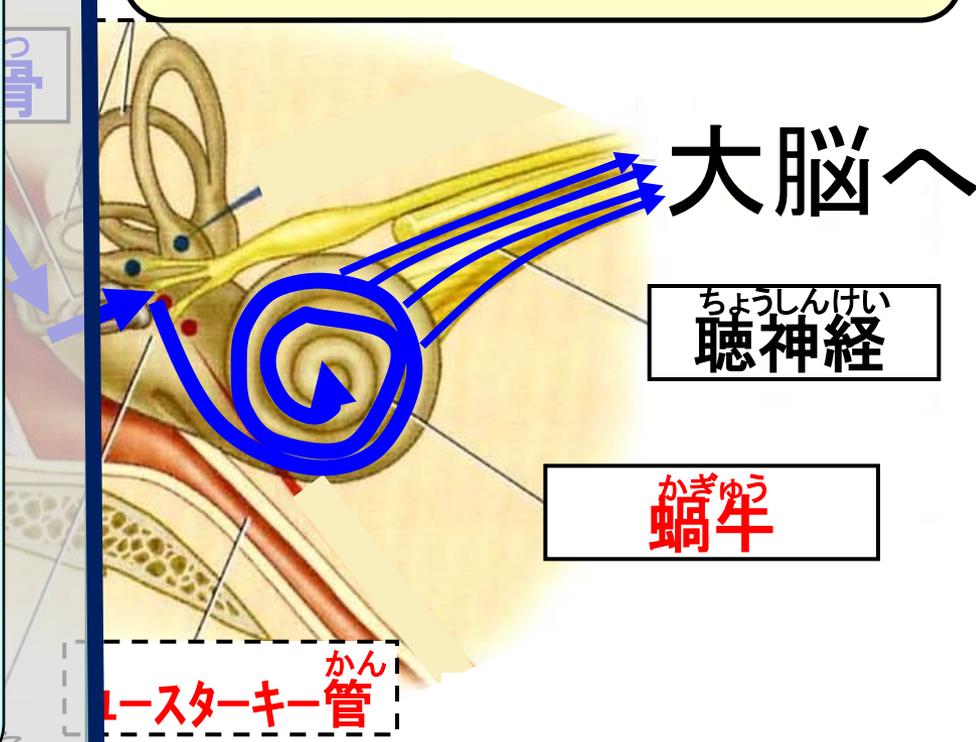
- ・ 補聴器などで音を増幅させても明瞭に聴こえない
- ・ 手術などで聴力が回復できない(人工内耳は例外)

- ・ 骨導・気導聴力の差がない
- ・ 高音が聴こえにくいことが多い

主な特徴

感音系

ほ乳類の場合、**有毛細胞**は「一度壊れると**再生しない**」とされている。



耳殻

感音系

- ・ 補聴器などで音を増幅させても明瞭に聴こえない
- ・ 手術などで聴力が回復できない(人工内耳は例外)
- ・ 骨導・気導聴力の差がない
- ・ 高音が聴こえにくいことが多い

主な特徴

中耳

内耳

はんきかん
半規管

うこつ
小骨

大脳へ

ちょうしんけい
聴神経

かぎゅう
蝸牛

ユースターキーかん
管

補聴器

ろうがっ

障害

つまり、「音を感じる部分」に障害があるので補聴器などで簡単に矯正できない